

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年 2月 27日

事業所名 放課後等デイサービス事業所アイ. プレイス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	ブレイルーム・学習室・更衣室・食堂室等、各児童の活動に応じてスペースが整っています。	
	2	職員の配置数は適切である	4	3		「職員増員の希望」の意見あり。利用する児童により、配置数以上の職員の配置を検討する必要があります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1	バリアフリーの設備が整っています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		業務改善を進める為、PDCAサイクルを行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	保護者等向け評価表を活用し、業務改善につなげています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	ホームページに公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		第三者による外部評価は現在行っていません。今後、必要に応じて検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	研修の機会を確保している。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	アセスメントを的確に行い、職員内で共有した上でサービス計画を制作しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	全事業所で共有の様式を使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	活動においては、随時話し合いを行い、立案を全職員で行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2	個々の児童の状況に合わせて活動を行う為、固定化する事はありません。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3		平日は、日常の流れの中で積み重ねる支援を主にを行い、長期休暇では、時間を十分に用いて行う事が可能である集団行動や体験学習、長期の課題による達成感を体験できる課題等、個々にあった設定を行い、充実出来るよう、支援をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	児童の状況に応じて個別と集団の組み合わせ、無理なく個々に応じた成長の道が開けるようサービス計画を制作しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	4	支援開始前には、全職員が共有し支援を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	支援終了後には、職員間で情報を共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2	日々の支援に関して、正しく記録をとり支援の検証・改善につなげています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	定期的にモニタリングを行い、サービスの見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	2	自立支援・日常生活の充実の為の活動、創作活動、地域交流、余暇の提供を組み合わせ合わせて支援を行っています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2	児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	学校の行事予定や各児童における情報等、連携を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3		該当児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	相談支援機関を介して情報を共有しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1	支援内容を提供しています。今後も提供を実施します。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1		必要に応じて今後の実施を検討します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4		児童クラブや児童館との交流はないが、外出を通して障害のない子どもとの接触の機会を行っています。今後も交流の場を広げられるよう検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	2	協議会等、参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		保護者との連携を取れるよう、常に連絡帳・送迎等で連絡を取り共通理解に心がけています。又、必要に応じて保護者と対面をし相談に応じています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2		送迎時・連絡帳・電話相談・担当者会議等において共有はしているが、専門的なペアレントトレーニングにおいては、シート等用いて実施はできていない為、必要に応じて今後検討します。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	2	時前面接、契約時に説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	相談は常に受ける体制を整えています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	父母の会の活動は開催していないが、家族参加のイベントを年に何度か開催しており保護者同士の連携が取れるよう環境を作っています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2	苦情相談においては、児童及び保護者に対して丁寧にかつ、迅速に対応に努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	定期的に会報等は実施していないが、行事・イベント・活動内容等、連絡帳や手紙等により発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	6		個人情報は的確に管理しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		情報伝達がスムーズに行えるよう、送迎時等を利用し職員間で共有をした上で職員全員が対応できるように心がけています。又、情報伝達の流れを作り円滑に行えるようにしています。今後も意思疎通や情報伝達の為、配慮を考慮していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1	事業所での行事(バーベキュー等)に地域住民を招待し、事業運営を図っています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員内では周知しているが保護者に対しては、掲示をしている状態である為、今後検討をする必要があります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		定期的に避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止の研修に参加をし、適切な対応に努めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	4		該当児童なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	4		該当児童なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	ヒヤリハット報告書を作成し、共有すると共に改善に取り組んでいます。	